

2022  
10・24

月4回  
月曜日発行

第1267号

# 週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所

Tel 03(3543)7421  
FAX 03(3543)5839

発行人 垂澤清三

年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎販材班グループ

これまで手掛けた倉庫リノベーションを振り返ると、オリジナル家具を製作した事例が多いことに気づきました。空間において、家具の占めるボリュームは小さくありません。アクセントとして空間のオリジナル家具を制作したり、家具製作によるメリットは色々あります。

私たちもこの製作家具に注目し、「家具リノベーション」を取り組んでいます。現代は変化の時代。組織や運用の変化が早くなり、一度リノベーションをしたら終わりではなく、空間も都度その変化に対応していくことが求められます。例えば、オフィスでは、リモートワークでオンライン化されたり、組織や運用の変化が早くなり、一度リノベーションをしました。規格化された組み立ても可能です。

これまで手掛けた倉庫リノベーションを振り返ると、オリジナリティを秘めていると思うのです。空間において、家具の占めるボリュームは小さくありません。アクセントとして空間のオリジナル家具を制作したり、家具製作によるメリットは色々あります。

これまで手掛けた倉庫リノベーションを振り返ると、オリジナリティを秘めていると思うのです。空間において、家具の占めるボリュームは小さくありません。アクセントとして空間のオリジナル家具を製作した事例が多いことに気づきました。

これまで手掛けた倉庫リノベーションを振り返ると、オリジナリティを秘めていると思うのです。空間において、家具の占めるボリュームは小さくありません。アクセントとして空間のオリジナル家具を製作したり、家具製作によるメリットは色々あります。

これまで手掛けた倉庫リノベーションを振り返ると、オリジナリティを秘めていると思うのです。空間において、家具の占めるボリュームは小さくありません。アクセントとして空間のオリジナル家具を製作したり、家具製作によるメリットは色々あります。

## ソーコに学ぶ ビル経営

イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM会社を経て現職。一級建築士、宅建士。「倉庫ドクター」として建築面からオーナー支援に取り組む。



の打合せが増えたことや、フリーアドレス化が進んだことによれば、必要な機能や空間も変わっています。そのようなかなが、家具をつくることと空間も変わっています。私はこの言葉に思わず膝を打ちました。家具によって空間を創ることとは、建築工事によるリノベーションと何ら遜色のない、むしろそれが現代らしく王道なものだと感じていたからです。

家具の巨匠に学ぼうと、先日「ジャン・ブルーヴェ展—椅子から建築まで」を見に東京都現代美術館へ。会期終了間際にすべり込みました。ジャン・ブルーヴェは、工業化が進む20世紀に活躍したフランスの建築家、デザイナーです。名作のスタンダードチェアやプレファブ住宅など、無駄がなくシンプルに洗練されたデザインに圧倒されました。規格化されてしまふ建築部材は、解体や再組み立ても可能です。

家具リノベーションでは、建築家による洗練されたデザインで新しいワークスタイルに呼応したプロダクト開発に取り組んでいます。人と環境に配慮したSDGsへの対応も重要なキーワード。物流で使わなくなつた木製の廃パレットの有効活用を図るほか、木質化の推進など、さまざまなテーマで実験的に取り組みを拡げています。製作家具は販売するだけではなく、リースや買い取りといった変化に対応できる多様な流通形態で、サーキュラーエコノミー（循環型経済）を実践しています。

ブルーヴェの家具と建築に対するアプローチはとても示唆的で、変化の中に入っている私たちに大きな暮らしを提供したことの意義深さ。また、時代の変化に与えてくれました。